

がんばるケアマネジャーのための広報誌

ケアマネみやざき

一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
ケアマネみやざき 9
平成24年2月10日発行
発行責任者
広報部
担当理事 小倉和也

介護報酬改定案の骨子提示される

1月25日の第88回社会保障審議会介護給付費分科会にて、平成24年度介護報酬改定に関する骨子（基



本的な考え方）が提示されました。今回の改定は、新たな介護サービス等への対応、診療報酬との同時改定に伴う医療と介護の機能分化・連携の強化などへの対応が求められており、「2025年（平成35年）のあるべき医療・介護の姿」を念頭におき、地域包括ケアシステムの基盤強化、医療と介護の役割分担・連携強化、認知症にふさわしいサービスの提供を基本的視点の3本柱として、これらが推進される方向で見直しが行われました。ケアマネジャーに関する居宅支援については、運営基準減算の見直し、特定事業所加算の見直し、医療連携加算や退院・退所加算の見直し、在宅患者緊急時等カンファレンスに介護支援専門員（ケアマネジャー）が参加した場合の評価、複合型サービス事業所に情報提供し、居宅サービス計画の作成に協力した場合の評価が、基準見直しの主な項目となっています。

今後も介護保険だけでなく、社会保障全体を通して、サービスと負担のあり方が議論となっていきます。またサービスの質をどのように担保していくかによって、幅広く介護保険事業に参入してきている事業所や従事している職員の質や処遇についても問われていくのではないのでしょうか。

研究大会終了の報告



ケアマネの熱い視線に

テーマ 「在宅支援体制の充実のために」
～リハビリテーション専門職の関わりを、もっと身近なものに～
日時 平成23年11月12日（土）10:00～15:30
会場 宮崎産業経営大学 5号館 2階講義室

今年のテーマは在宅での機能訓練のために医療と介護の連携の中で、ケアマネジャーと在宅医療やリハビリとの関わり方について研究しました。基調講演では「在宅訪問リハ活動の夜明けから現在、そして未来へ」と題して医療法人社団健育会 竹川病院リハビリテーション部兼ケアセンター「けやき」在宅支援部門常勤顧問の米田睦男先生に、ユーモアと力あふれるご講演をいただきました。米田先生の久しぶりのお元気な姿は、私たちに熱いメッセージをいただきました。



また後半のシンポジウムでは、「リハビリテーション専門職の関わりを、もっと身近なものに」をテーマに、当協会の牛谷会長を座長に、助言者として米田先生をお願いしながら、PT、OT、ST、ケアマネジャーの関わり方を検証いたしました。

パネリストには、社団法人宮崎県理学療法士会 花田英稔氏、一般社団法人宮崎県作業療法士会 黒木俊光氏、宮崎県言語聴覚士会 南環氏、そして一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会から藤田美穂氏をお願いし、医療と介護の連携や利用者が在宅で健やかに生活していくことを目標にしたケアプランの位置づけなど、利用者の幸せという私たちケアマネに共通した理念に最も精通できた、みんなで考えることがのできる研究大会となりました。



当日は約200名の皆さんに参加していただくことができました。ご多忙にも関わらずご参加いただきました皆さま、そして大会関係者の皆さま、誠にありがとうございました。

やっちゃんな～ケアマネジャー！

地域ブロック研修会ご報告

日南・串間ブロックネットワーク報告

10月28日(金)ふれあい健やかセンターにて、日南市立中央病院リハビリテーション科の鈴木次郎医師を講師にお招きして、テーマ「リハビリテーションについて」と題し研修を開催しました。リハビリの開始時期、役割、効果等の話しに加え、口腔ケアの大切さや地域との連携についての話を伺いました。脳卒中地域連携パスの話では、医療との連携・在宅復帰後の家での過ごし方など、ケアマネが居宅サービスにおいてケアマネジメントする中で直面する課題についてご講義をいただきました

宮崎・東諸県ブロックネットワーク報告

10月1日(土)特別養護老人ホーム裕生園にて、デイサービスセンターはつらつ佐土原の今田雅人氏を講師にお招きして、テーマ「帰る前に1分間 座ってできる肩こり、腰痛解消体操」と題して、研修会を開催しました。

約40名の参加者といっしょに、介護者の腰痛予防や介護予防体操として実施しました。



延岡・西臼杵ブロックネットワーク研修報告

平成23年12月10日(土)午後1時30分より九州保健福祉大学にて、マスターウェルネスコーチの芦村 恵氏を講師にお招きし、テーマ「対人援助に活かすコーチングコミュニケーション」と題し、開催しました。まずはより良い信頼関係を築くことが重要であること、相手の意欲を引き出すための対人援助のポイントと相手の自発的な行動を促すコミュニケーション技術についてグループ演習や発表を通し学ぶことができました。



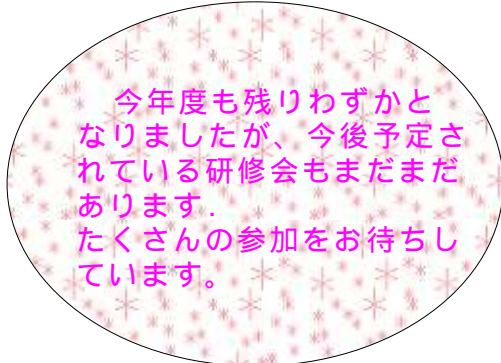
小林えびの西諸ブロックネットワーク研修予定

- 1日時：平成24年2月25日(土) 午後2時より
- 2場所：小林市社会福祉センター
- 3内容：「高次脳機能障がいを理解する」
講師：大分県高次脳機能障がい支援拠点機関 佐藤博文氏、本田昇司氏



都城・北諸県ブロックネットワーク研修予定

- 1日時：平成24年2月18日(土) 13:30より
- 2場所：都城市総合社会福祉センター
- 3内容：テーマ「対人援助技術」
～ストレンクス・エンパワメント・ナラティブアプローチ～
講師：久留米大学文学部社会福祉学科 准教授 片岡靖子先生



県北ブロック研修会報告

9月10日(土)に延岡総合文化センターにて古賀総合病院リハビリテーション技術部の南 環(みなみ たまき)氏(宮崎県言語聴覚士会 地域活動局)を講師にお招きし、テーマは「言語聴覚士の役割を知ろう」と題して、開催しました。実際にかかわった事例を中心に、ケアプランへの反映を考えるための講義をいただきました。約50名の参加者は、言語聴覚士とケアマネジメントの関わりに深く耳を傾けました。

県央ブロック研修会予定

- 1日時：平成24年2月18日(土) 午前10:00より
- 2場所：J A ・ A Z Mホール
- 3内容：「平成24年度介護保険制度改定の動向」
～ケアマネジャーに期待すること～
講師：宮崎県福祉保健部長寿介護課 定員になり締切ました

平成23年度介護支援専門員指定研修の進捗状況

更新研修・再研修・専門研修課程

介護支援専門員として業務につくために義務付けられた5年毎の更新研修は、業務に携わってから6ヶ月以上経過した方は専門研修課程として、また3年以上経過した方は専門研修課程として受講することができ、5年毎の更新時期に免除される研修体系になっています。また、再研修は介護支援専門員としての資格はあるものの、更新の手続きをされていなかった方が、再度、介護支援専門員の業務に就く為に受講する研修です。更新研修は、実務経験者で53時間（専門33時間・専門20時間）、実務未経験者で44時間、また再研修も同じく44時間といずれも大変長丁場です。

研修の間は体調管理をされ、かつ沢山の講義内容を習得しなくてはならず、大変ですはあり

ますが、さすがこれからの介護を担うケアマネジャーさん、受講される姿は、みな真剣そのものでした。

実務従事者基礎研修

介護支援専門員として実務就業後1年未満の方が原則受講する事になっているこの研修は、介護支援専門員の倫理からケアマネジメントのプロセスと基本的考え方、またケアマネジメント点検演習など、ケアマネジメント業務で基礎となる部分を計5日間で33時間で学習します。介護支援専門員として業務について1年未満の方々が、抱えている悩みや課題についても掘り下げて、また地域のケアマネジャーさんたちとのネットワーク作りとなる研修でした。フレッシュな受講生の今後の活躍を期待したいと思います。お疲れ様でした。



今年度県より介護支援専門員の法定研修に係るすべての研修を、当協会が指定管理を受け実施しています。ケアマネジャーの資質向上のために1年を通して実施してきた研修についてのご報告です。

主任介護支援専門員研修

介護支援専門員のさらなる資質の向上を図るためのこの研修は、ケアマネジャーとしての業務に関し十分な知識と経験を有し、一定の条件を満たした方が受講できる研修です。10月から1月までの4ヶ月間（11日間計64時間）の大長丁場の研修を終了された、84名の方々大変お疲れさまでした。

今後、介護支援専門員のスーパーバイザーとして、また後進の育成においてのご活躍を期待しております。

...



実務研修

介護支援専門員実務研修受講試験を合格した方が、現場で働くことのできるケアマネジャーとして、必ず受講しなければならない、言わば登竜門でもあります。

今年は、県内で191名の方が実務研修受講試験に合格されました。例年以上に厳しい試験を突破された方々、本当におめでとうございませう。44時間の研修また実習は本当に大変ですが、修了されたあかつきには、是非本協会の仲間入りをしていただき、フレッシュな力で、協会を盛り上げていってください。

がんばれ未来のケアマネジャーたち



今年度より当協会ではじめての法定研修を実施しましたが、受講生の皆様方にはなにかとご不便をおかけしたと思います。今後とも皆様方の協力をいただきながら鋭意取り組んでまいります。

自殺予防フォーラム in みやざきの終了

『「生きる」と「生ききる」との間に』というテーマで綾心塾 主宰の綾部正哉氏を講師に、延岡・宮崎・都城の県内3箇所で講演をしていただきました。

綾部先生は宮日新聞に自分史を連載され、今なおそのタイトルのごとく、「生涯生燃」（しょうがいせいねん）を実践されております。講演では「俱会一処」（くわいいつしょ：あの世で再び会える）という仏教の教えを引用され、今を生きることと与えられた人生を全うすること（ご先祖様から受け継い

だ命のバトンを後世に繋ぐ）が我々の責務であるとしてご教授頂きました。また、「心は人間（じんかん）にあり」という考え方は関係性の構築には欠かせないことであると痛感しました。博学多才な先生の講演は、終始楽しく拝聴することができ、大盛況でした。ありがとうございました。



『ひとりケアマネのつぶやき』 ~ 県央地区のひとりケアマネさんからの投稿です。

宮崎県介護支援専門員協会では、独立型のケアマネさんや、事業所のひとりケアマネさんを支援していくための活動も行っております。そこで、広報誌を利用して、ひとりケアマネとして頑張っておられる方々の「生の声」をみなさんにお届けして、様々な形で情報交換をしたり、ケアマネさんへの勇気をお届けできたらいいと思っています。

3年前の思いがけない「転職」が、自分の「天職」となることを目指し、日々悪戦苦闘中のひとりケアマネです。ちなみにプライベートも「ひとり(!?)」です(笑い)

試行錯誤しながらの毎日。難題にぶつかったとき、すぐに悩み落ち込む悪い癖がありまして……。そんな時、背中をポンと押してくれる先輩が近くにいてくれたらと思うことがあります。尊敬する地域包括支援センターの主任ケアマネ様より「過ぎたことを悩むのではなく、その方の先のことを考えてあげることが大切」とのお言葉。常に心に抱いております。経験が浅いということや、“ひとりだから”などは、利用者様には関係のないことですからね。私を担当として決めてくださった方々のため、前向きに頑張っていかななくてはと、移動の車の中では、いつも独り言をいい、自分に活を入れていきます。

地域包括支援センターの主任ケアマネ様しかり、尊敬できる多くの先輩ケアマネ様との出会いが、私の何よりの励みです。すてきな出会いに乾杯!!皆様今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

人との出会いがどれだけ大切であるかということ、この職務に就き、強く実感しております。

『一期一会』 私の大好きな言葉です。皆様との「出会い」と「絆」を大切に、これからも頑張ります。(匿名希望のケアマネより)

ホームページがリニューアルしました



会員専用ページでは、個別相談や掲示板がご利用いただけます。会員の皆さまだけの特権です。是非ご利用ください。



12月末にホームページをリニューアルしました。研修会案内や他職種連携情報など随時更新してまいります

事務局便り

編集後記

居宅介護支援費の利用者負担導入を阻
止するべく、会員のみなさんにも署名活動
職場の皆さま、周囲の方々にも署名活動
をしていただきました。これ以上利用
者の皆様への負担は、介護保険制度その
ものが根本的に揺るがす大きな問題で
はが、おかげにより、今回の報酬改定で
入見送られることとなり、署名の集まり
国で73,500名の署名が集まり、全
宮崎県だけでも4,502名の方が反対の
署名をしてくださいました。
社会保障の一体改革の名のもとに、社会
費増税の議論もあり、政府内でも、日
本の現状をみると、少子高齢社会の中で、
支え手が不足しており、社会保障給付費
も右肩上がりであり、高福祉高負担の代
までの大きな課題です。高福祉高負担の
考え方もあります。高齢者や障がい者
にやさしい政策を、利用者さん一人ひと
りも生活の中で入らざるを得ないことと
く、時代の変わりも常にかかっています。
と、今日本だけなく世界がかわるまで
時期にあり、我々自身が頼りなく私
考ちがいます。おのれにかがわらず、
ところ、現況は、おのれにかがわらず、
るよ、良きもの、何かが変わる時代
で、編集後記、今年辰年。私たちが願
届いた！

KO